

一人で悩んでいませんか

長期に及ぶ闘病生活により、様々な悩みを抱えている難病の患者さんやご家族のため病気を理解しましょう。

共に支え合う仲間になりませんか



〒010-0922

秋田市旭北栄町1番5号 秋田社会福祉会館3F

TEL 018-823-6233

FAX 018-824-4627

E-mail: akinanren@ab.auone-net.jp

ホームページ:

<http://www.ab.auone-net.jp/~nanbyou/>



あゆみ



- 1976年 秋田難病団体連絡協議会として設立
- 1985年 第1回「難病無料相談会」開催
以後毎年県内各地で開催
- 1989年 秋田県難病団体連絡協議会と改める
- 2003年 NPO法人秋田県難病団体連絡協議会として改組
- 2004年 秋田県難病相談支援センターを
県社会福祉会館3階に開設
- 2010年 第1回「難病ふれあい相談会」開催
以後毎年県内各地で開催
- 2012年 難病連結成35周年記念大会

難病連の活動内容

機関誌
「秋田なんれん会報」
の発行

秋田県難病相談・
支援センターの業務委託
「無料相談会」の開催

行政への
要望活動、国会
請願署名活動

「難病
ふれあい相談会」
の開催

患者・家族
の支援として
交流会開催

日本難病、
疾病団体協議会
の活動に参加

イオン黄色い
レシートキャンペーン
に参加

患者・
家族団体の
設立支援

チャリティ事業
カタログギフト販売

難病患者
支援自販機
の設置



自販機の設置場所を求めています。難病連にご紹介ください。

難病相談・支援センター

相談は無料・秘密は厳守いたします。

毎週月曜日から金曜日(祝祭日を除く)

開館時間：午前 9:30～午後 4:30
(12:00～13:00休憩)

場所：難病相談・支援センター
(秋田県社会福祉会館 3階)

- ❖ 療養生活の相談
- ❖ 医療に関する相談
- ❖ 就労に関する情報提供
- ❖ 患者会の情報提供
 - ❖ 関係機関・団体との連帯や調整
 - ❖ その他難病に関すること

お気軽に
ご相談
ください



電話・FAX・
メール・来室
による相談



電話による相談

TEL 018-866-7754
FAX 018-866-7782



来室による相談

(要電話予約)



メール相談

[E-mail]

akita-nanbyo.s.s@ab.auone-net.jp

会費

当会会費は次のとおりです。

年会費 **団体加盟 1 名につき 400円**
個人会費 3,000円

(会計年度は 4 月 1 日より翌年 3 月末日)

加盟団体 (2013年9月現在・11団体)

秋田県腎臓病患者連絡協議会
全国心臓病の子供を守る会秋田県支部
全国パーキンソン病友の会秋田県支部
公益社団法人日本リウマチ友の会秋田支部
全国膠原病友の会秋田県支部
秋田県肝臓友の会
秋田県筋ジスの会
全国筋無力症友の会秋田支部
つぼみの会 〈若年性認知症〉
バクバクの会 (人工呼吸器をつけた子の親の会)
日本 ALS 協会秋田県支部

賛助会員・ 寄付金について のお願い

当難病連の趣旨にご賛同頂き、賛助会員としてのご加入と併せて、寄付金につきましても、宜しくお願い致します。(会計年度は4月1日より翌年3月末日)

賛助会費 **団体** 年間 一口：10,000円
個人 年間 一口：2,000円

郵便振込用紙にご住所、団体名(氏名)、賛助会費、寄付金と明記のうえ、ご送金くださいますようお願いいたします。

口座記号・番号 02580-6-3659
加入者名 NPO法人 秋田県難病団体連絡協議会

秋田県社会福祉会館



● JR 秋田駅より バス山王十字路下車徒歩5分
山王2丁目下車徒歩2分、タクシーで8分



私たちの の ねがい

難病とは、難治性が高い病気、すなわち原因が不明で、治療方法が確立していない疾病のことを言います。ごくまれではありますが国民の中に一定の割合で発病する可能性があります。

難病は一部の人達の問題ではありません。私たちは突然、難病と呼ばれる原因不明の病気や慢性疾患の患者や家族になったのです。

NPO法人秋田県難病団体連絡協議会は昭和51年に県内の難病患者会が結集し発足しました。発足以来患者同士の助け合い、励ましあいを基本として「難病無料相談会」をはじめ、医療講演会、患者、家族の交流会の開催、県、市町村などへの要望、国会請願署名など行ってきました。また、患者会の育成、強化、全国の患者団体との交流、学習会、機関誌の発行、ホームページの運用など展開してきております。秋田県の難病対策である難病相談支援センターを県から受託し電話による相談や面接による相談支援を行っております。私たちの事業は次のような考えで取り組んでいます。

私たちの事業は次のような考えで取り組んでいます

-  **病気について学習し
自分の病気をよく理解しましょう。**
-  **病気に負けないで支え合い、
ともに生きていきましょう。**
-  **安心して治療を受け、生活して
いける社会づくりに参加しましょう。**